

突哨山のホタル生息地保全に関するお願い

大雪土地改良区理事長 伊林 正様

2018年6月12日

突哨山運営協議会会長 出羽 寛

突哨山山麓をはじめ、旭川地方の灌漑水利と農業振興に日々ご尽力されていることに敬意を表します。

私たち突哨山運営協議会は、旭川市と比布町にまたがる突哨山の環境保全と市民の利用について、住民と行政がともに合意形成を行う組織です。

このたびは、突哨山の山裾にあり、貴改良区が管轄される灌漑水路に隣接するヘイケボタルの生息地保全について、ご協力とご理解のお願いを致すことになりました。

ヘイケボタルはご存じのように夏の夜に光を発して飛び交うなじみ深い昆虫ですが、近年その生息地が減少し、人為的に増殖されている場所以外では見るのが難しくなっております。清冽な水と多様な水生動植物がいないと生息できない、「きれいな水環境」を象徴する貴重な生き物です。

突哨山の一角では、偶然ではありますが、灌漑水路によって山からの沢水がせき止められる形でたまり、小さな湿地を形成してホタルの生息地となっております。毎年、数十匹ほどではありますが確実に繁殖を続け、貴重な在来種の遺伝子を保っております。

ほとんど人に知られていないであろう、この小さな天然繁殖地を末永く保全するため、隣接する水路の維持管理におかれまして、下記の点について環境保護に特段のご理解とご配慮をお願いいたします。

記

- 1, 水路管理作業(伐採、草刈り)の際、湿地への伐採木投入など、環境の変化を招く行為をお避け下さい。
- 2, 湿地の水位を保つため、現状の水の流出部が大きく変わらぬようご配慮下さい。
- 3, 将来、水路の改修計画などがある場合は、事前にご連絡いただければ幸いです。
(補足:水路維持作業は従来通りでけっこうです。個体数がごく少ないため、場所が公開されぬようご配慮をお願いします)

連絡先:旭川市土木部公園みどり課(25-9705)

NPO もりねっと北海道(76-2006、指定管理者)



灌漑水路（左）によってできた小湿地がホタルの生息地となっています



伐採した樹木を湿地に投入することはお避け下さい